

## Banco Sumitomo Mitsui Brasileiro S.A. DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

## マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場はインフレへの思惑やイエレンFRB議長証言で上下動しましたが、大きな動きには繋がらない展開でした。朝方は2月上旬の総合インフレ指標が市場予想を下回ったことにより、前日比レアル高の2.40近辺から始まりました。しかし、熱波と干ばつの影響で食料品の値上がりが懸念されたことやイエレンFRB議長がテーパリング継続を表明したことなどからレアル買いは続かず2.41台後半へレアル安となりました。イエレン議長は慎重にテーパリングを進めると共に予め決められたコースで縮小されるわけでもないことも言及したためレアル売りも続かず反転し、結局2.40近辺で引けています。

イエレン議長は最近の新興国情勢に関して米国への影響はないと言及して特別に配慮する意向がないことを明確にしました。経済規模を考えればしごく当然のことであり、また議長はテーパリングがいつか行われることは量的緩和を始めた頃から説明してきたことであり、準備期間は十分に与えてあったとしてテーパリングが新興国不安を招いたとする論調に反論しました。傍から見ればお互い様という感じもしますが、流動性供給減少のなかで今後新興国が選別されていくことは間違いない、自力でどれだけ投資を集められるかが試されていくことになります。経常赤字・財政赤字の大きさで市場の懸念を浴びるFRAGILE 5(ブラジル、インド、インドネシア、南アフリカ、トルコ)は今年全ての国で選挙がありますが、ブラジルは最も遅い10月に行われるため新政権になると見込まれる陣営が選挙前から改革志向を打ち出さなければ、市場から見放される可能性が高いでしょう。

## マーケットデータ

Indicator	Unit	2月10日	2月11日	前日比	1月10日	1ヶ月前比
BRL / JPY Spot	JPY	42,43	42,76	+0,33	44,17	-1,41
USD / BRL Spot	BRL	2,4099	2,4004	-0,0095	2,3584	+0,0420
USD / JPY Spot	JPY	102,26	102,63	+0,37	104,18	-1,55
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	47.711	48.463	+752	49.696	-1.233
CDS Brazil 5yrs (クレジットデフォルトスワップ)	bps	190,2	187,7	-2,5	194,30	-6,6
Brazil 5yrs Gov. Bond	%	13,00	13,08	+0,08	12,76	+0,32
DI Future Jan15 (金利先物)	%	11,31	11,33	+0,02	10,61	+0,72
3 Months US Dollar Libor	%	0,234	0,237	+0,003	0,242	-0,005
CRB Index (国際商品指数)	Index	288,9	290,2	+1,3	275,4	+14,8

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

